

令和5年第3回青森市議会定例会提出

請 願 文 書 表

請願一覧表

| 受理 番号 | 受 理 年月日 | 件 名 | 請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名 | 紹 介 議 員 | 付 託 委 員 会 |
|----------|------------|------------------|--|---------------|--------------|
| 5 | R5.8.30 | 都市機能増進施設誘導に関する請願 | 青森市大字新田字忍33番地 活力と魅力あふれるまちづくり推進 協議会 会長 三原 吉信 | 関 貴光 奈良 祥孝 | 都市建設 (常) |

都市機能増進施設誘導に関する請願

令和 5 年 8 月 30 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市大字新田字忍 33 番地

活力と魅力あふれるまちづくり推進協議会

会長 三原 吉信

紹介議員 関 貴光

奈良 祥孝

(請願の趣旨)

都市再生特別措置法により平成 30 年 3 月に策定した青森市立地適正化計画に記載された都市機能誘導区域について、現在の土地利用状況を見ると、各区域は既に飽和状態である。

このため、都市機能誘導区域として、既に市街地を形成している都市基盤未整備地区などを候補地として検討が考えられる。具体的には、区域区分制度上、建築物の建て替えが困難な地区で発展性が阻害されている等の土地である。

国勢調査を基に平成 22 年から令和 2 年までの 10 年間で、青森市の人口増減率はマイナス 8.1%であり約 2 万 4000 人減少している。東北他県の県庁所在地では、秋田市マイナス 4.9%、福島市マイナス 3.4%、盛岡市マイナス 2.9%、山形市マイナス 2.6%、仙台市プラス 4.9%であり、青森市の減少率は突出している。このため、早急に活力と魅力あふれる都市機能誘導区域の整備が必要である。

コンパクトで活力ある持続可能なまちづくりを目指し、都市間競争に負けない魅力ある青森市の都市再生が必要である。このため、都市機能増進施設誘導の受け皿となる区域の先行的都市基盤整備の検討が必要である。

(請願事項)

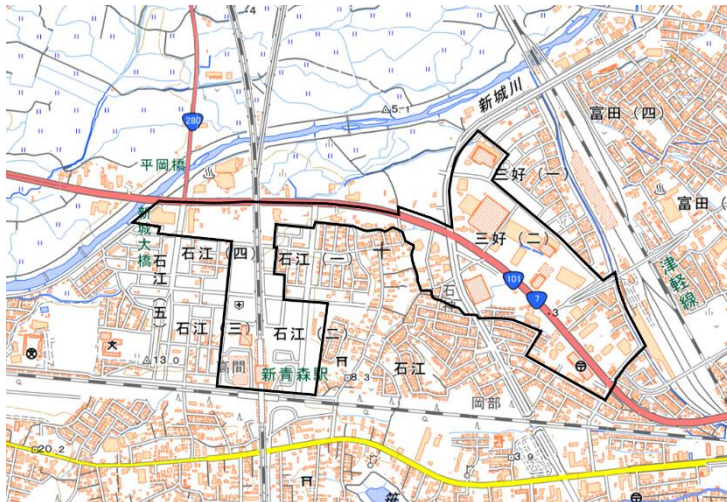
青森市立地適正化計画を基本とし、都市間競争に負けない活力と魅力あふれる青森市の都市再生を目的とするため、都市機能増進施設を誘導すべき土地の確保を目指し、都市計画の弾力的運用による民間事業の先行的都市基盤整備の検討及び関係機関との協議を実施すること。

青森市立地適正化計画における都市機能誘導区域

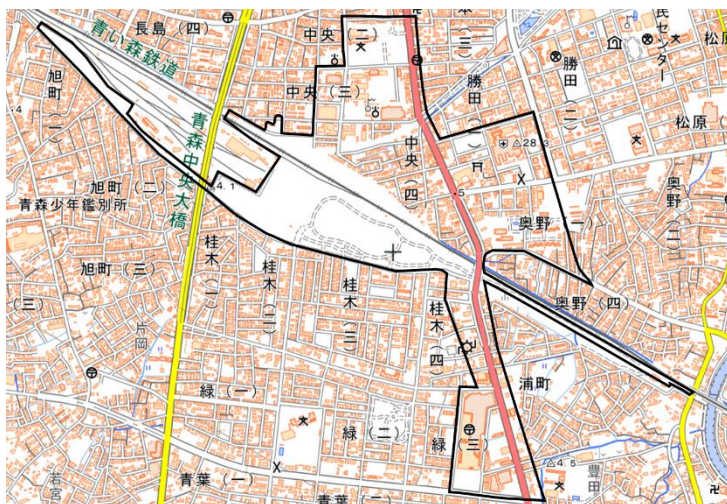
青森駅周辺地区(154ヘクタール)



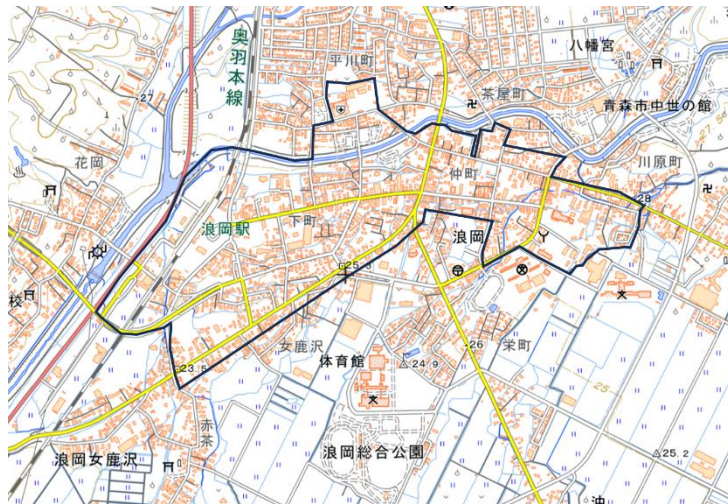
新青森駅周辺地区(54ヘクタール)



操車場跡地周辺地区(81ヘクタール)



浪岡駅周辺地区(72ヘクタール)



地区拠点区域（都市機能誘導区域等）と居住誘導区域

